

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、脳脊髄液減少症（脳脊髄液漏出症）の勉強会は開催しないこととしました。

静岡県内の患者・御家族様からは、勉強会で最新の知識を得るだけでなく、講師の国際医療福祉大学熱海病院 篠永正道先生に直接お会いし、お話を伺うことが闘病生活の励みになっているという声をいただいています。

そこで、今年度の勉強会は開催できませんが、篠永先生から静岡県内の患者様、御家族様へのメッセージをいただきました。

例年行ってきた脳脊髄液減少症勉強会は、今年はコロナ禍のため中止になり大変残念に思います。新型コロナウイルス感染は、私たちの生活、社会全体の在り方に大きな課題を投げかけています。感染を防ぐため大人数で集まることがしばらくの間出来なくなりました。インターネットを活用するののも一つの方法ですが、私のように長くアナログ社会で生活したのものにとってネット社会はなかなかなじみません。

近年、脳脊髄液が脳の機能に重要な働きをし、認知症とも深くかかわっていることがわかってきました。脳脊髄液減少症は依然として認知度の低い疾患で、適切な治療を受けられるのはまだ限られた人だけです。静岡県は、脳脊髄液減少症の診療が全国でも最も進んでいる県です。それは静岡県健康福祉部医療局疾病対策課が長年この疾患にとりくんできたからにほかなりません。しばらくはインターネットを利用しながら、来年はぜひ集まれる場が出来ればと思います。

新型コロナウイルス感染が脳脊髄液減少症にどのような影響を及ぼすのか不明ですが、万一感染しても治療法が進歩しているので心配ありません。良い眠り、十分な水分摂取、適度な運動は脳脊髄液減少症の治療だけでなくコロナ感染予防にも役立つと思います。

令和2年9月

国際医療福祉大学熱海病院脳神経外科 篠永正道